

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒141-0032  
 住 所 東京都品川区大崎1-6-4  
 氏 名 エリーパワー株式会社  
 代表取締役社長 小川 哲司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エリーパワー株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区水江町4-7		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	29	電気機械器具製造業
主たる事業 の内容	蓄電池の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,676	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成29年度 ～ 平成31年度 (報告年度 平成31年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の環境基本方針については、ホームページにて公表しております。 <a href="http://eliipower.co.jp/policy/environment.html">http://eliipower.co.jp/policy/environment.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 11,913 t-CO <sub>2</sub> (調) 10,780	(実) 12,125 t-CO <sub>2</sub> (調) 10,954	(実) 11,780 t-CO <sub>2</sub> (調) 10,631	(実) 10,693 t-CO <sub>2</sub> (調) 9,629	(実) 11,913 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) -1.8 % (調) -1.6 %	(実) 1.1 % (調) 1.4 %	(実) 10.2 % (調) 10.7 %	(実) 0.0 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	生産能力増強と人員増加により、エネルギー使用量が増加することとなったため、実排出量は1.8%増となった。
第2年度	省エネルギー対策を進めた結果、エネルギー使用量が削減でき、実排出量は1.1%減となった。
第3年度	省エネルギー対策を進めた結果、エネルギー使用量が削減でき、実排出量は10.2%減となった。 【実施内容】 ・休日における空調機の一部停止 ・ドライルーム用除湿機の一部停止 ・コーター（塗工機）の運転集約による運転台数削減 ・照明のLED化 ・空気調和機、外気調和機の温度条件緩和 ・水冷チラーの運転台数制御プログラム改善による運転台数削減

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ推進体制の活用</li> <li>2. 主要設備のエネルギー管理</li> <li>3. 稼働率の低い機器の運転パターンの見直し</li> <li>4. チラーの運転台数の見直し</li> <li>5. 空調温度管理の徹底</li> <li>6. 照明設備の LED 化</li> <li>7. 蒸気トラップ適正化</li> </ol>
	第 1 年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ推進体制の活用 定期的に省エネルギー委員会を開催し、情報を共有、分析することにより、無駄なエネルギーを削減した。</li> <li>4. チラーの運転台数の見直し チラーの増減段プログラムを見直し、チラーの運転台数を削減した。</li> <li>6. 照明設備の LED 化 274 台の蛍光灯を LED 照明へ交換した。</li> </ol>
	第 2 年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ推進体制の活用 定期的に省エネルギー委員会を開催し、情報を共有、分析することにより、無駄なエネルギーを削減した。</li> <li>6. 照明設備の LED 化 236 台の蛍光灯を LED 照明へ交換した。</li> <li>7. 蒸気トラップ適正化 蒸気漏れ不作動の不具合があった蒸気トラップ 6 台について交換等の適正化を実施し</li> </ol>
	第 3 年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 省エネ推進体制の活用 定期的に省エネルギー委員会を開催し、情報を共有、分析することにより、無駄なエネルギーを削減した。</li> <li>4. チラーの運転台数の見直し チラーの増減段プログラムをより適正化し、チラーの運転台数を削減した。</li> <li>5. 空調温度管理の徹底 空気調和機、外気調和機の供給温度を緩和し、蒸気、冷水のエネルギーを削減した。</li> <li>6. 照明設備の LED 化 279 台の蛍光灯を LED 照明へ交換した。</li> <li>7. 蒸気トラップ 蒸気漏れ、不作動の不具合があった蒸気トラップ 15 台について、交換等の適正化を実施した。</li> </ol>
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

工場等の新設、増設時には、太陽光発電を中心に積極的に導入を検討する。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
太陽光発電	規模：50kW 導入場所：川崎事業所（事務棟）	平成23年度	導入済み
太陽光発電	規模：140kW 導入場所：川崎事業所（工場棟）	平成24年度	導入済み

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行う。</li> <li>2. 事業所に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請する。</li> <li>3. 廃棄物の減量化・分別化の推進する。</li> <li>4. 夏季の期間、クールビズ実施する。</li> <li>5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置する。</li> </ol>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行った。</li> <li>2. 工場に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。</li> <li>4. 夏季にクールビズを実施した。</li> <li>5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置した。</li> </ol>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行った。</li> <li>2. 工場に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。</li> <li>4. 夏季にクールビズを実施した。</li> <li>5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置した。</li> </ol>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電と連携して電力を蓄電するシステム等の開発及び普及促進を行った。</li> <li>2. 工場に入出入りする協力業者に、エコドライブへの協力を要請した。</li> <li>3. 工場からの廃棄物の減量化および分別化の推進を行った。</li> <li>4. 夏季にクールビズを実施した。</li> <li>5. 省エネルギーを促すポスターや掲示物を各所に設置した。</li> </ol>

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

## ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	10,367	t-CO <sub>2</sub>
(調)	10,756	

## イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

## ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	神奈川県川崎市川崎区水江町 4-7	2951	蓄電池製造業	10,367 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

## (3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

## ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--